



10 受付で再会を喜ぶ新成人。会場の至るところでそんな光景が見られた11 友人同士で受付する新成人たち。自分の名前を見つけてうれしそう。受付係をはじめ、さまざまな場所で本川根中と中川根中の生徒が活躍してくれた



1 佐藤町長から新成人に記念品が贈られる。受領者は山本亮太さん 2 3 4 式典が始まる前の文化会館駐車場では、久々の再会に懐かしそうな声が上がっていた。

決意と自覚を胸に 新たなステージへ旅立ち

晴天に恵まれた1月8日。新成人の門出を祝う平成24年新成人式は文化会館で挙行された。藤森敦生生涯学習課長が新成人89人の名前を読み上げると、一人一人が立ち上がって一礼し、その様子がスクリーンで上映されると会場から歓声が上がった。佐藤公敏町長は新成人に向

かって「皆さんはこれから、自らの行動に責任や義務を負う立場となります。地域に対してどのような役割を果たすことができるか、しっかりと考えられる人になってください」と祝いのメッセージを送った。

主張を述べた長嶋歩さんと森下信弘さん。堂々とした姿で仲間や両親らに向かって感謝と決意を述べた。式典の最後、謝辞を述べた鳥居史哉さんは、新成人全員を代表して力強く感謝の言葉を述べ、深々と頭を下げた。この後、中川根中鈴木ほのかさんと小中学校時代の恩師から祝いのメッセージが送られると、新成人の間から感激する声が上がった。

本町の今年の新成人は男性49人、女性40人。それぞれが決意と自覚を胸に秘め、新たなステージへと旅立った。

大人として、責任ある一歩を踏み出します

鳥居史哉さん(瀬平)

本日、晴れて成人の日を迎えることができたのは、家族、友人、恩師をはじめ、今まで支えてくださった多くの人のおかげであると改めて感じています。
昨年3月11日に発生した東日本大震災。この日は私の19回目の誕生日でした。日本で、世界で、人々が絆を感じ、人の思いやりを改めて考えさせられる1年でした。先日震災関連の番組で、東北の人が「私たちの東北を被災地ではなく、これからは『復興地』と呼んでください」と話していたのが強く印象に残っています。
今日から私たちは、大人として、責任ある一歩を踏み出します。未知の世界に対する不安は大きく、大きな壁にぶつかることも、くじけそうになることもあるかもしれません。そんな時は、この町で育ち、学んだことを思い出し、力強く生きていこうと思っています。



さまざまな分野で厳しい状況が続いていますが、それでも次の世代にタスキをつないでいかないとなりません。地域の課題は地域で解決する時代。風土に根ざした産業、生活、文化をつくっていくのがこれからのまちづくりです。皆さんの柔軟な発想と行動力に期待しています。 佐藤公敏



12 「夢に向かって進む新成人の皆さんは、私たちのあこがれです」と祝いの言葉を述べる中川根中の鈴木ほのかさん 13 式の最後には赤石太鼓の経験者がステージに上がり、保存会メンバーとともに迫力のパチさばきを披露。会場中に太鼓の音が鳴り響き、大きな歓声に沸いた



今年の県内新成人は3万7,238人。前年より176人の増。4年ぶりの増加に転じたが、来年は再び減少する見通し。新成人数が最も多いのは浜松市の7,739人、最も少ないのは松崎町の52人となっている。

Zoom up 【新成人からのメッセージ】 Message

晴れの門出を迎えた89人の新成人(式出席73人)。この町で生まれ、この町で育った若者たちが晴れて旅立ちを迎える時。新たな一歩を踏み出す新成人たちが送る「笑顔」というメッセージ



5 受付に向かう新成人たち。懐かしさに話も尽きない様子 6 7 あでやかな着物に身を包んだ女性たち。会場内にたくさんの笑顔の花が咲く 8 9 恩師から送られる温かなメッセージに自然と笑顔もほころぶ